

## 子宮体がん

子宮の奥の子宮体部に発生するがんで、40代後半から50代の閉経後にかかる人が多くなっています。発症には女性ホルモン(エストロゲン)が関係しているとされています。妊娠・出産の経験がない人や肥満、糖尿病、高血圧のある人に発症の危険性が高いのが特徴です。

### ・症状は？

初期の段階から自覚症状があります。月経以外の時に不正出血が続いたら婦人科を受診してください。他におりもの、排尿痛などの症状がでることもあります。

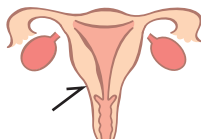
### ・検査方法は？

細胞診や超音波検査で異常が認められると組織診を行います。

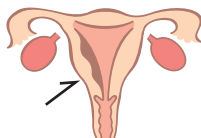
### ・治療法は？

卵巣に転移しやすいので、手術では全摘出に加え卵巣、卵管も切除するのが一般的です。

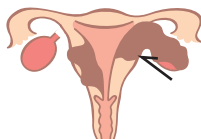
子宮体がんの進行期



がんが子宮内膜にとどまっている状態



粘膜を超えて広がった状態



卵管などに転移した状態

日頃から気をつけたいこと・・・

- ・喫煙をやめましょう。
- ・バランスのよい食生活を心がけましょう。
- ・高脂肪、高エネルギーの食生活は子宮体がん発症のリスクが高まります。気をつけましょう。
- ・定期検診を受けましょう。